



▲2キロコースを力走

江府町報

第202号

発行者
鳥取県江府町
電話江尾代75-2211
編集 総務課
印刷 (有)富士印刷

江府町の人口



(9月30日現在)

世帯数	1,250	世帯
人口	4,872	人
(前月比)	3	人増
(男)	2,346	
(女)	2,526	
出生	6	
(男)	4	
(女)	2	
転入	6	
(男)	4	
(女)	2	
転出	8	
(男)	6	
(女)	3	
死亡	1	
(男)	1	
(女)	0	

一二〇人が力走

江府町健康マラソン大会

「自分の健康は、自分で作ろう」をスローガンに、十月十九日、健康マラソン大会が保野川発電所ダム湖畔で開かれました。

ダム湖を半周する町道池ノ内湖岸線は、全長約四、〇〇〇メートル。緑の自然に囲まれてマラソンには、かつこうのコースになっています。

大会は、体力に合わせ、二キロ、三キロ、四キロコースに分けて行われ、お父さんやお母さんに手を引かれたチビッコからお年よりまで約一二〇人が参加し、体いっぱい高原のさわやかな空気をあびながら力走、スポーツの秋を満喫しました。

この日は、ときおり雨も降り、肌寒い一日となりましたが、走り終えるとゴールに準備された温かいみそ汁を味わいながら、全員が完走の喜びにひたっていました。

・9月町議会定例会・

補正予算など十議案を可決承認

九月定例町議会は、九月二十五日から五日間の会期中にひらかれ、町長提出の全議案が原案どおり可決承認されました。

議決された事項は次のとおりです。

▽非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

「消防団員等公務災害補償等共済基金法施行令」が改正されたことに伴い、江府町条例の一部を改正するもので、退職報償金の支給額の引き上げを行うものです。

▽簡易水道等施設の設置並びに給水に関する条例の一部改正

昭和六十年年度において、地域農業拠点整備事業の一環として実施した栗尾地区簡易給水施設について、本年二月から試験給水を行ってきましたが、このたび受益者間で水道料金の協議が整い、江府町条例に基づく給水区域に編入す

るものです。

▽財産の取得

昭和六十一年度建設機械整備事業として、除雪機械を購入するため、動産の取得について議会の議決を得るものです。

▽昭和六十一年度奥大山国民宿舎山荘甘酒茶屋運営事業会計決算認定

決算総額は、事業収益 一億二、七八三万五、七七一円

内訳
営業収益 一億二、六五八、〇〇〇円
営業外収益 二、一七五、〇〇〇円

事業費用一億二、一一五万、三六四円で、純利益金は、六六八万四、三三三円となりました。

また、資本的収入決算額は、

三、六六〇万円、資本的支出決算額は、五、七〇四万二、〇七五円で、これは、レストハウス青嵐を建設したものであり、不足額二、〇四四万二、〇七五円は、前年度分損益勘定留保資金で補てんしたものです。

▽昭和六十一年度索道運営事業会計決算

決算総額は、事業収益 五、四三一、八〇〇円

内訳

営業収益 五、三三万、〇〇〇円
営業外収益 一、〇〇五、〇〇〇円

事業費用四、四七五万、一八六円で純利益九五六万七、二〇四円となります。

また、資本的支出決算額は、一、七三〇万円で、これは、債務償還金であり、前年度分損益勘定留保資金をもつて、補てんしたものです。

▽昭和六十一年度一般会計補正予算(第三号)

既定の予算額に、歳入歳出それぞれ、一、八一〇万二千円を追加し、予算の総額を二〇億五、六九〇万三千円としました。

補正の主な内容は、総務管理費、同和対策事業費、清掃

費、自然休養村施設管理費、道路維持費、道路新設改良費、埋蔵文化財発掘費等であり、この財源として、地方交付税、国庫支出金、諸収入等を充当して予算を編成するものです。

▽昭和六十一年度奥大山国民宿舎山荘甘酒茶屋運営事業会計補正予算(第一号)

収益的収入及び支出のうち営業費用の既定額に二九八万六千円を増額し、総額一億四、八一九万五千円としました。

補正の主な内容は、職員の人件費並びに他会計への負担金で、この財源として予備費を減額充当して予算を編成するものです。

▽昭和六十一年度索道運営事業会計補正予算(第一号)

収益的収入及び支出のうち営業費用の既定額に四二八万円を増額し、予算総額を四、四〇六万九千円としました。

補正の内容は、他会計への負担金で、この財源として予備費を減額充当して予算を編成するものです。

また、資本的収入及び支出

町長日誌

* 8 月

- 1日(金) 町婦人大会、役場OB会、中国電力保野川発電所建設所所長来庁
- 2日(土) 神奈川水力発電委員来庁
- 4日(月) 在勤、洲河崎部落役員来庁
- 5日(火) 米子図書館協議会、「ふるさと日南邑」農林業体験実習館完成式、宮市水道委員来庁
- 6日(水) 町議会臨時会、県農林部次長来庁
- 7日(木) 財務行政懇談会、県農林水産部長来庁
- 8日(金) 鳥取・岡山県境開発促進協議会総会並びにブロック会議(岡山県)
- 9日(土) 商工会わくわく会
- 11日(月) 西部町村会定例会、大山農地開発局長来庁



▲祝福をうけられる下村矛盾さんご夫妻

町長の行政報告

(九月町議会定例会から)

総務

八月二十七日、山陰中央新報社の主催により、俣野川発電運転開始に伴う今後の振興について、知事、米子市長、経済界代表、山陰中央新報社社長、中国電力重役、町長で懇談会を行いました。

自治功勞により、春の叙勲(勲六等単光旭日章)を受けられた下村矛盾さんの受章祝賀

の既定額に三五〇万円を増額し、二、三八〇万円としました。補正の内容は、施設整備費であり、この財源として、留保資金繰入金金の既定額二、〇三〇万円に三五〇万円を増額して予算を編成するものです。

昭和六十一年米沢財産区特別会計補正予算(第一号)

既定の予算額に、二、四九七万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ三、五九六万円としました。

教育委員に

影山 猛さん

九月三十日付で任期満了となる教育委員河本昊道氏の後任として、影山猛さん(洲河崎)が選任同意されました。

民生

七月二十九日、鳥取県庁で開かれた国民健康保険団体連合会臨時総会で江府町が優良団体として表彰を受けました。個人の部では、担当職員として松原良枝係長、また国保運営協議会委員として、佐伯良人さんが表彰を受けられました。

農林

八月二十七日、郡共進会が行われ、江府町畜産品評会で選ばれた六頭を出品。成績は次のとおりです。また、この中から細田和三、新見一郎氏所有の牛二頭は、十月四日、五日の県共進会に出品されます。

- 一等賞(区：昭和六十一年五月十一日、八月十一日) あき号 細田和三(江尾) ひので4の2号
- 新見一郎(袋原) さゆり号

佐々木卓(洲河崎)

建設

八月二十九日、建設省所管第三課会計検査員による検査が行われ、江府町は、昭和六十年二級町道江尾久連大谷線久連橋歩道橋架設工事について、書類検査及び現地検査を受けました。

教育

俣野塚原地内で発見された「北谷ヒナ横穴郡」の発掘調査が八月三十一日付で完了しました。

一、四号までのこの横穴墓からは、遺骨二十体以上、鉄刀二本、刀子五本、耳環六ヶ、まが玉一ヶ、管玉三ヶ、土器三十一ヶ等の出度品も発掘され、教育委員会、県埋蔵文化財センターの調査により、約一、四〇〇年前のものとして推定されています。

12日(火)	水田転作会議、十七夜踊保存会打合せ、環境庁長官懇親会(米子市)
13日(水)	国立公園大山指定五〇周年記念式典(大山町)
16日(土)	俣野老人クラブ連合会総会、町外弔問、江尾十七夜前夜祭、江尾十七夜
17日(日)	在勤、町外葬儀
18日(月)	在勤、県土地改良協会会長・町農業委員会会長来庁
19日(火)	武庫地内土地流出現場調査
20日(水)	西部地区同和協議会県外視察(奈良県)
21日(木)	行政対談打合せ
22日(金)	建設・農林・民生関係入札、県剣道大会打合せ
23日(土)	壮年野球大会開会式
25日(日)	日野郡議会議員ソフトボール大会(日野町)
26日(火)	山陰中央新報社主催行政対談
27日(水)	転作関係区長会、大山山ろく農地開発局長、武庫部落役員来庁、
28日(木)	

過疎バスを考えよう

米沢線・貝田線に代替バス運行

十月一日から米沢線・貝田線を路線バス運行からバス会社へ委託して代替バスを運行することになり、十月六日江尾駅前駐車場で出発式が行われました。

過疎地におけるバス路線は町村の多額の負担をもって維持されており、行政上の大きな課題となっています。

過疎バス：これは、マイカーが年々増加し、住民のバス利用が急激に減ったため、起った現象です。もし、町内のバス路線が全て廃止されるようなことになったら私たちの生活はどうなるのでしょうか。過疎バスについても一度考えてみましょう。



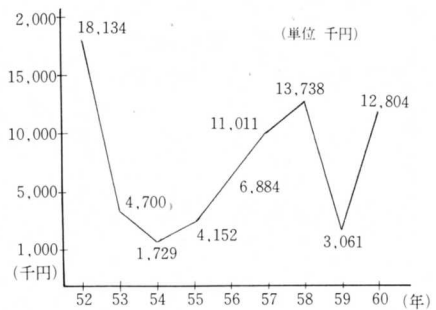
▲テープカットを行う高木日ノ丸自動車株式会社社長、井上町長、加藤江府中学校長

日ノ丸自動車が多額の赤字をかかえ、再建策に赤字路線廃止案を出したのが昭和五十一年：お年よりや子供たちをはじめ、通学、通勤に車をもたない人たちの暮らしの足を守ろうと、町では国・県の補助制度の活用、運行回数の見直しダイヤ改正と積極的に対策を講じてきましたが、バス利用者は減少の一途をたどり、現在のバス路線維持が困難な状態になってきています。

*補助制度とは

補助の対象となる路線は、平均乗車密度で決められ、第一種生活路線（十五人以上の

□ 過疎バス補助金の推移



路線）、第二種生活路線（十五人以上十五人未満の路線）、第三種生活路線（五人未満の路線）と分かれ、この内第二種生活路線と第三種生活路線が国・県・町の補助金によって運行されることになっています。

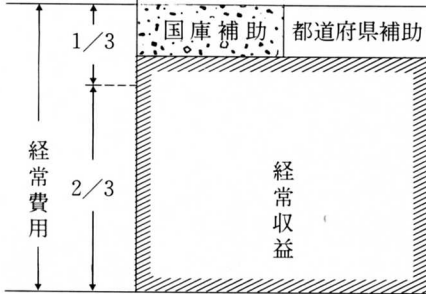
補助金のしくみは、別表のとおりで、第二種生活路線はバス運行収益が経常費用の3/4以上であればすべて国・県が負担、3/4未満の場合は、経常費用の1/4を国・県が負担し、その残り（3/4が限度額）を町が支払います。第三種生活路線は、経常費用の1/2を町

29日(金)	壮年野球大会閉会式 建設事業関係会計検査、議会議員研修会 並びに自治功労者表彰式（米子市）
30日(土)	在勤
31日(日)	県剣道選手権大会 町民野球大会開会式
* 9 月	
1日(月)	南山会
2日(火)	日野町江府町日南町衛生施設組合議定例会、商工会金融懇談会
3日(水)	兵庫県出張 （教育委員、校長会 県外視察）
4日(木)	東京出張 （農業委員会視察）
5日(金)	日野郡町村職員球技大会
6日(土)	江府中学校運動会
7日(日)	西部地協青年部野球大会
8日(月)	下蚊屋ダム関係会議
9日(火)	武庫部落役員来庁
10日(水)	農協和牛部総会
11日(木)	西部町村職員球技大会（溝口町）、県耕地課長来庁 民生委員推せん会

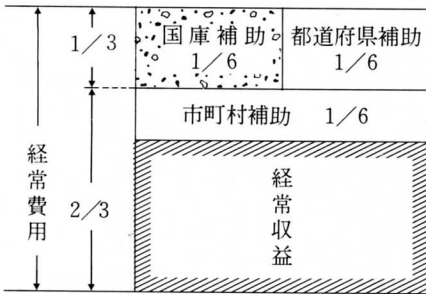
補助のしくみ

第2種生活路線維持費補助の場合 (乗車密度5人～15人の路線)

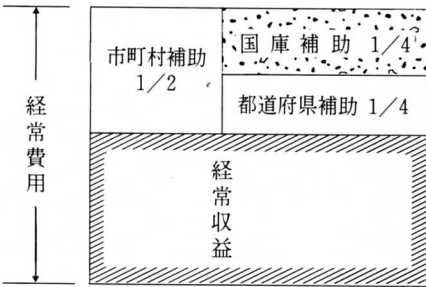
① 経常費用の3分の2以上の経常収益がある場合



② 経常費用の3分の2未満しか経常収益がない場合



第3種生活路線運行費補助の場合 (乗車密度5人未満の路線)



が負担し、国・県がまずつ支払いですが、第三種の国・県の補助金は三年を経過すると打ち切りとなり、運行を維持するためには町が経常費用の全額を負担していかなければいけません。

*町内バス路線の現状は……

江府町は、江尾駅を發着する五路線の内、米沢線(乗車密度四・三人)貝田線(乗車密度三・九人)大河線(乗車密度四・八人)が第三種生活路線で、六十年には、この三路線が、補助打ちきりとなり三路線で、約一千万円もの負担金を支払っています。今年米沢線(鏡ヶ成)が第三種生活路線三年目で二種路線に格上げにならない限り補助打ち切りの対象となり、このままの路線を町の負担だけで維持していくのは困難になってきます。

*路線バスから代替バスへ

このような現状のなかで何とか存続していかなくてはと検討されたのが十月一日からの代替バスの運行です。代替バスは、運賃、停留所運行ダイヤなどは従来と同じですが、その路線を独立採算的に経営するもので、町がバスを購入し、バス会社に業務を委託します。町では、このため、五十五人乗りを一台と経費節減のため二十九人乗りの小型バスを一台購入(国・県が経費のきを補助)、米沢線、貝田線に充当しています。代替バスの運行でバス路線維持費は、昨年度の一、二〇〇万円より百万円減少し、更に六十二年には半額程度になる見込みです。

*みんなのでバス利用を

集落の点在する江府町ではバスは「絶対に必要な」生活の足であり、何とか残していなくてはなりません。そのためには、町民のみなさんに現状をご理解いただき、今まで以上にバスを利用していただくなくてはなりません。町内の路線バス維持のため、一層のご協力をお願いいたします。

12日(金) 西部町村長会
13日(土) 支援事業打合せ、下蚊屋ダム関係打合せ
14日(日) 西部福祉事務所長・西部町村会局長来庁
15日(月) 下村矛雄氏祝賀会
16日(火) 明倫・俣野・米沢小学校運動会、町民運動会
17日(水) 江尾地区敬老会、武庫、新道、池の内老人クラブ敬老会
18日(木) 日野町江府町日南町衛生施設組合議会臨時会、建設省倉吉工事事務所長来庁、下安井行政座談会
19日(金) 江尾区行政座談会
20日(土) 東京出張
21日(日) (まちとむらの交流推進委員会)
22日(月) 甘酒茶屋運営委員会
23日(火) 農協和牛部会
24日(水) 在勤、町内弔問
25日(木) 町議会定例会
26日(金) 建設、農林、同和对策関係入札
27日(土) 早起きテニスクラブ
28日(日) 二十周年記念大会
29日(月) 町議会定例会
30日(火) 日野地方農林振興協議会、教育委員辞令交付、耕地課長来庁



▲功労者の表彰式

九月二十七日、運動公園テニスコートでOBテニスクラブ(古川勇会長)主催の早起きテニス開講二十周年記念大会が開かれ、九十人が参加してさわやかな汗を流しました。

交流試合でさわやかな汗

山間地の江府町は、場所、施設を選ばず、少人数で気軽に行われるように、大正時代から軟式テニスが盛んな行われるようになりました。この早起きテニスクラブは、

テニスの町 江府町の基盤を支える 早起テニス 開講二十周年記念大会

伯州児童庭球大会で育ち、現在の江府町テニスの基盤を築いた中高年層が昭和四十年に開講し、公民館テニスコートを会場にスタート。自分たちで土を運び、コートを整備してきた自主運営と熱心なスポーツ熱が二十年にも及ぶ活動を支えてきたもので、西部地区では、米子湊山クラブについて二十周年となりました。伝統の伯州児童庭球大会も現在、山陰少年庭球大会として第三十八回と回を重ね、参

より速い情報を 防災行政無線を設備



▶町内全域から
基地局へ情報を電送

万一の災害時により速く確実な情報をつかみ、防災活動に役立てようと、このたび、役場と消防車に防災行政無線が設置されました。

この無線は、町内全域に電波が届くようになっており、役場(本部)と消防車が直接連絡が取れるようになっています。

また、携帯用も設置され一般行政にも利用でき、これからの消防活動をはじめ、防災行政業務に幅広く活用できるものと期待されます。

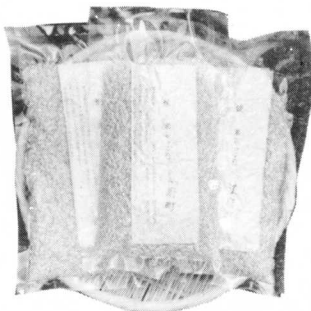
会長さん

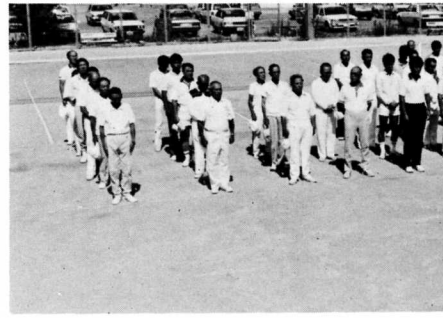


明倫小学校
PTA会長
三輪 英男さん
(下安井)

昨今の教育を取巻く環境は、地域性はあるにせよ、大変難しい状況を呈しています。その中で私達PTAの果たす役割は愈々もって、重要かつ真剣に一つ一つの活動を充足させなければなりません。校区全体で児童の健全育成の環境づくりに、全力を傾注いたしたいと思います。

の知恵 見直そう





110年の思い出



江府町公民館 館長 仲嶋勝利 氏

早起きテニス開講二十周年、思えば懐かしいテニスの一コマです。

小学校五年から伯州児童庭球大会に参加し始めたわたしは、戦時中と戦後遠ざかっていったが役場にテニスコート新設の頃から再びやり始め、昼休憩の一刻汗を流しながら楽しんでたものでした。毎日少しづつの練習、というよりもゲームの繰り返しは確かに実戦には役立ち、西部労組の大会で、各団体の有力メンバーを押えて江府町役場

加校五十校二〇〇チームと県外にも知られる大きな大会に発展し、実力も小・中学生はもとより、高校生、町出身者の活躍は、地区大会から全国レベルを誇るまでとなりました。大会では、OBテニスクラブ会長と井上町長が、テニスの町江府町の基盤づくりを支えてきたこの二十年の地道な

チームが団体優勝したのも今は懐かしい思い出の一つになっています。

さて、早起きテニスは、たまたま会場が公民館コートで始められたので、宿直の朝は早朝から、夕方は日没まで公民館コートでよく練習したものです。

現在も四町役場職員の大会有りですが、毎日やっていないのでみなさんの足を引張ることが多いようです。

それでも人から「しわいテニス」だと言われればいい気になり自己満足をし、時折り自己流テニスを楽しんでこの頃です。

テニスは年老いてもいつまでもできるスポーツであり、テニス愛好の一人として、今

活動をたたえてあいさつ、功労者八名の表彰に続いて、コートに分かれて交流試合を行い、会員同志の親睦を深めました。なお、表彰を受けられたみなさんは、次のとおりです。

○感謝状（江府町長）
生田恒隆（米子市）、江府町OBテニスクラブ

後もつづけていきたいものだと思います。



OBテニスクラブ 会長 古川 勇 氏

顧みますと昭和四十年の夏、公民館コートで早起きテニスを開講してから二十年の歳月を迎えることができました。

発足当時は、久連、助沢あたりから土砂を運搬してコートを整備、また公共施設の建設等のため、会場を江尾小、

明倫小、米沢小、江府中に転々と変更し現在のすばらしい運動公園テニスコートに定着するまでには幾多の変遷がありました。二十年の命脈を

○感謝状（江府町長、体協会長）
川崎仁（江尾）、加藤清俊（杉谷）、古川幹夫（宮市）

○表彰状（江府町長、体協会長）
上原裕臣（江尾）、山口健次郎（江尾）、古川勇（江尾）、江本徹（江尾）

を保つことが出来たことは、永年にわたる多くの皆様方の限らない前進への努力によるものと思います。

昭和四十六年には、江府町OBテニスクラブが結成され、早起き会の自主運営が軌道に乗り年々会員も増え、この二十年間に江府町は、名実ともにすばらしい発展をとげました。

これも早起きテニスに陰に陽にスポーツの町江府の基盤を支えてきたと自負いたしております。

この二十周年を契機として今後更にテニス人口の底辺拡大、世代を超えた交流、地域住民を結ぶ相互の親睦が深まり、江府町のテニスの一層の発展を祈念します。

稲作り やっこめ 焼米を



このほど町では、農家の暮らしの中から生まれ親しまれてきた「やっこめ」を作り、町内の全家庭、小中学校に配布しました。

「やっこめ」は、苗代の種もみの残り、田んぼの水口・早刈りの稲などもみで作られ、保存食、携帯用として、また近年までは、農家のおやつとして親しまれてきました。現在、食生活も多様化し、恵まれた時代にあります。反面、美味軟食時代ともいわれ、子供たちの阻しやく力（物をかむ力）が著しく減退するなどの問題もあり、昔からの自然食が見直されてきています。

この「やっこめ」は、このような現代の食生活、健康について考えてもらい、また、お年よりには、懐かしい郷土の味を味わってもらおうと農家・農協・母子会の協力で作られたものです。



加入ではじまる

国民年金

十一月は年金制度
推進月間です

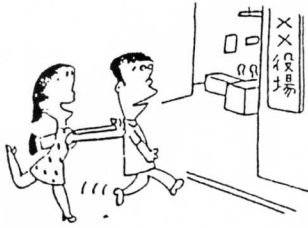
今や人生八十年、我が国は高齢化への道を歩んでいます。長い老後を幸せに過ごすために、年金は欠かすことができません。

四月からの新しい年金制度で、二十歳から五十九歳の人にはサラリーマンも奥さんもすべて国民年金に加入し、すべての人が国民年金から基礎年金を受けるしくみになりました。

基礎年金には、老後に受ける老齢基礎年金のほか、思いがけない事故に遭ったときに

受ける障害基礎年金、遺族基礎年金の三種類があります。加入せずにいると、不慮の事故の場合や老後などに年金を受ける権利ができないことになりかねません。

長い人生、いつなにが起るかわかりませんし、だれもが確実に年をとっていきます。まだ、加入していない人は、すぐ役場福祉係で加入手続きを行って下さい。



(早いほどよい国民年金の加入)

国の制度に感謝



篠田正志 さん
(小江尾 79歳)

昭和三十一年、山仕事の最中に事故にあい、右足を切断しました。

老齢年金に達しないうちに障害年金がもらえました。

最初は六万円くらいからはじまって現在は年間六十万円。

昔は、六十歳になり役にたたなくなると、うば捨てなどといった葬むられたと聞きます。年もとり家でぶらぶらしていますが、孫やひ孫に何か買ってやったり、この年になってもこずかいに不自由することもありません。ほんとうにいい制度ができたものと感謝しています。

年金が生活の支えに



久代仲江 さん
(新二 46歳)

昭和四十八年から母子年金をもらっていましたが、今年から年金制度の改正で遺族年金をもらうようになりました。

四十八年五月、突然、夫を病気で失い、小学校一年の長男を頭に子供三人と、はじめたばかりの店の機械の借金をかかえ、ほんとうに途方にくれました。

そんなとき、母子年金がも

らえ、その年金を借金の返済にあて、頑張ってきました。

現在、長男は勤めるようになり、あと二年すると一番下の子供も十八歳になり老齢年金がもらえるまで、年金の受給はストップすることになります。

年金が生活の支えでしたので、商売を続けるのも大変ですが、町内には唯一のクリーニング店だからと皆さんに励ましてもらって、店を継いでも良いという次男とすっかり頑張っているかと思えます。

白寿、米寿のみなさんに記念品

郵政省では、長年にわたる簡易保険、郵便年金事業への協力に感謝するとともに、長寿を祝い、老人を大切に作る気風を社会的に育てようと、毎年、白寿(99歳)、米寿(88歳)を迎えられた方々に記念品を贈呈しています。

江府町でも九月十五日の「敬老の日」、郵便局を通じて、米寿七人のみなさんに郵政大臣のお祝い状と湯呑みが贈られました。

対象のみなさんは、次のとおりです。



筒井理三郎 さん
(下蚊屋)



川上ちとせ さん
(御机)



小椋あさの さん
(下蚊屋)

国保

私の健康体験記募集



「健康であること、は、すべての人々の願いです。国保は、事業の重要な柱のひとつである保健施設活動を通して、みなさんの健康づくりのお役に立つよう努力しています。

しかし、健康づくりは何ととっても個人の自覚ととりくみが最も重要となります。

つまり、「自分の健康は、自分で守り、つくる」という考えをもつことです。この考えにたって積極的に健康づくりにとりくんでいる人がふえつつあることは非常によろこばしいことです。みなさんがとりくんだ健康づくりについてどんなことでもかまいませんからお知らせ下さい。

応募の要領は次のとおりです。

○応募の資格

国保関係者及び国保被保険者

○字 数

400字詰原稿用紙5枚以上10枚以内（タテ書き）

○明記事項

住所、氏名、年齢、性別、勤務先の名称、職名、在職年数（被保険者の場合は加入保険者及び職業）

○締 切

昭和61年12月31日

○原稿送付先

〒100 東京都千代田区永田町1-11-35
国民健康保険中央会広報室懸賞体験文募集係

○そ の 他

未発表のものに限ります。

社会福祉や教育など、私たちの生活においても、いろいろな面でかわりあっている

税金がどんな仕組みになっているのか、またどのように使われているのかなど、皆さんに正しく理解していただくための期間です。

十一月十一日から十七日まで「税を知る週間」です。この週間は、昭和二十九年十一月に、「納税者の声を聞く月間」としてスタートしたのが始まりで、「税を知る週間」となってからは十三年目となります。

この期間中は、各地で臨時の税務相談所や児童・生徒、主婦、サラリーマンなどを対象とした租税教室、説明会などが開かれ、米子税務署管内では、下記のとおり税の無料

税を知る週間

十一月十一日～十七日

相談と税金展が行われます。この機会に、みんなで税について考えてみましょう。



『税の無料相談と税金展』

と き 昭和61年11月13日(木)～11月15日(土)

午前10時～午後6時30分

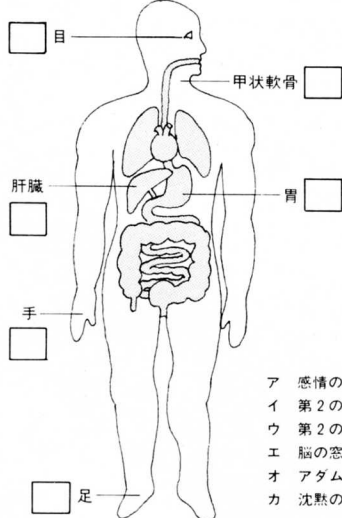
ところ 米子高島屋 1階



お気軽に！
税務相談室

♡国保健康クイズを連載します
考えてみて下さい（答は次ページ）

① からだの名称、さてまたの名を何という？



- ア 感情の共鳴箱
- イ 第2の心臓
- ウ 第2の脳
- エ 脳の窓
- オ アタムのリンコ
- カ 沈黙の臓器



車 隆代さん (貝田)

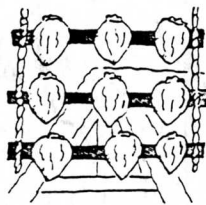
清水ひさよさん (柿原)

川上りつさん (美用)

奥田をたねさん (柿原)

人の動き

9月届



□お誕生おめでとう

新道 宇田川敦史 寛良二男
 本一 小倉 龍馬 貞道長男
 半の上 瀬島 周治 明正長男
 佐川 森谷早百合 佳英二女
 本二 福田 涼 学長男
 柿原 田中 梨沙 明男長女

□ご結婚を祝します

前角 達也 佐川
 吉岡 明美 米子市から
 小掘 行雄 大阪市西区
 谷口さゆり 久連から
 田中 孝志 米子市
 加藤美恵子 俣野から

木嶋 英二 日野郡溝口町
 梅林 幸子 武庫から
 岡田 正純 貝田
 永山みどり 宮崎県都城市から

□ごめい福を祈ります

御机 川上興吉 90歳八千穂宅

ありがとう
 ございました

9月中寄託分

■香典返しとして

御机 川上八千穂殿
 (父興吉様ご逝去)

□内祝として

下蚊屋 小椋富子殿
 (ご本人様退院)
 半ノ上 水田とよ子殿
 (ご本人様退院)
 新一 川端忠男殿
 (ご本人様退院)
 杉谷 加藤敬子殿
 (ご本人様退院)

小江尾 手島一夫殿 (ご本人様退院)
 本一 永岡仁司殿 (二女祐子様退院)
 佐川 三浦あさよ殿 (ご本人様退院)
 本五 原 忠明殿 (ご本人様退院)
 杉谷 片山一郎殿 (ご本人様退院)
 宮市 河上貞也殿 (ご本人様退院)
 久連 徳岡秀介殿 (ご本人様退院)
 本一 藤田松男殿 (ご本人様退院)
 下蚊屋 大岩重子殿 (ご本人様退院)
 佐川 高木哲也殿 (ご本人様退院)

以上、社会福祉事業にご寄付
 いただきました。厚くお礼申し
 上げます。

江府町社会福祉協議会

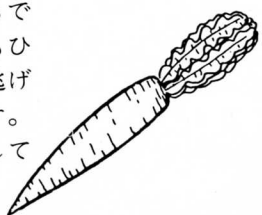
善意銀行受払報告

- 1、八月末累計額 二百九十五万四千八百五十一円
- 2、九月中寄付額 二十二万円
- 3、内祝 五万円
- 4、快気祝 十七万円
- 5、香典返し 七千円
- 6、支出額 七千円
- 7、必要費 七千円
- 8、九月末累計額 三百十六万七千八百五十一円

保健婦からひとこと

大根おろしで

塩抜きを



これからは脳卒中で倒れる人の多い時季。毎日の食生活から塩分を減らす工夫はいろいろされていますが、塩鮭や塩鱈など塩分のききすぎた魚にあたってしまった時は困ります。捨ててしまうのは勿体ないので、「塩ぬき」をして使うことになるのですが、その方法に茶がらをひとつまみ入れた薄い塩水に漬ける「呼び塩」があります。茶がらを入れるのはタンニンが蛋白質を固めて、うま味が逃げるのを防ぐからです。また大根おろしに漬けるのもひとつの方法で、これもうま味が逃げず、上手に「塩ぬき」が出来ます。塩分の摂りすぎには十分に注意して下さい。

国保健康ほどクイズ

答えて健康

目	エ
甲狀腺	オ
肝臓	カ
胃	ア
手	ウ
足	イ

★目：高血圧や動脈硬化、糖尿病、肝臓病など全身病や脳の病気は、その症状が目にあられることが多く、脳の窓とか健康の窓と呼ばれます。
 ★甲狀腺：エデンの国で神様が最初に作った人間アダムが、サタンの誘惑に負けてイブのすずめる禁断のリンゴを食べたために、それがのどにつかえてきたという伝説から、アダムのリンゴと呼ばれています。

★肝臓：肝臓は各種栄養素の代謝や解毒作用、血液の貯蔵など重要な働きを黙々とこなす、肝臓などの病気を起こしても症状があらわれにくいことから、沈黙の臓器といわれます。
 ★胃：喜びや不満、怒りなどデリケートな感情は胃に影響することから、胃は感情の共鳴箱とか心を映す鏡などといわれます。
 ★手：指先には数百万の末梢神経が集まり、これを使うと脳の働きが活発になり、老化予防にも役立つところから、第二の脳といわれます。
 ★足：血液がスムーズにからだを循環するには、心臓はもちろんです。手足をばしめとした全身の活発な運動が必要です。足はそのシンボルとして第二の心臓といわれます。